

令和 8 年度 第 1 回佐世保市・佐々町地域公共交通活性化協議会 議事録

場所：佐世保市役所 5 階 庁議室

時間：令和 8 年 7 月 14 日（火）10:00～11:30

≪ 1. 開会 ≫

（事務局：須藤）

定刻となりましたので、ただいまから「令和 8 年度 第 1 回佐世保市・佐々町地域公共交通活性化協議会」を開会いたします。

会長への交代まで、進行役を務めさせていただきます、本協議会事務局長の須藤でございます。

よろしくお願いをいたします。

委員の皆様方におかれましては、改めて、本日はお忙しい中、またお暑い中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

それでは着座にて進めさせていただきます。

【資料の確認】

次に、会議の開催にあたりまして、会の成立要件について確認をさせていただきます。協議会規約第 7 条第 2 項に「構成員の過半数以上の出席により成立する」とございますが、本日は、委員 27 名のうち、代理の方も含めて 22 名のご出席をいただいておりますので協議会の成立要件を満たしていることを、ご報告をいたします。

続きまして、前回開催から、人事異動等により委員の方々の交代がございますので、新たに委員に就任をいただいた方々について、名簿の順にご紹介をさせていただきたいと存じます。

① 長崎県地域振興部 交通政策課長、岩崎委員。

本日はご欠席のため、代理といたしまして、林田参事様にご出席をいただいております。

② 長崎県立佐世保商業高等学校 校長 前田委員でございます。

③ 長崎県立清峰高等学校 校長 柳本委員でございます。

④ 長崎県県北振興局 次長兼建設部長 松本委員。

本日はご欠席のため、代理といたしまして、県北振興局建設部 道路維持第一課、真木

課長様にご出席をいただいております。

⑤ 佐世保警察署 交通課長 平山委員でございます。

⑥ 江迎警察署 交通課長 岩永委員でございます。

⑦ 国土交通省 九州運輸局鉄道部 計画課長 椎葉委員です。
本日はご欠席となっております。

⑧ 国土交通省 九州運輸局長崎運輸支局 支局長 貴島委員。
本日はご欠席のため、代理といたしまして、長崎運輸支局 三善専門官様にご出席をいただいております。

⑨ 佐世保市 都市整備部長 森山委員でございます。

⑩ 佐世保市 土木部長 森委員でございます。

⑪ 佐々町 住民福祉課長 落合委員でございます。

⑫ 佐々町 建設課長 上野委員でございます。

以上ご紹介でございました。

どうぞよろしくお願いをいたします。

《 2. 会長挨拶 》

（事務局：須藤）

それでは、協議会の開催にあたりまして、まず初めに、本協議会の会長であります、宮島佐世保市長がご挨拶申し上げます。

（宮島会長）

改めまして皆様おはようございます。

本日はお忙しい中、また梅雨も明けまして、大変暑い中にも関わらず「令和8年度第1回 佐世保市・佐々町地域公共交通活性化協議会」へご出席をいただき、誠にありがとうございます。

委員の皆様方におかれましては、地域公共交通の維持・活性化と利便性の向上のために、日頃から様々なご協議を行っていただくとともに、ご支援、ご協力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

また、公共交通事業者の皆様方におかれましては、慢性的な運転士不足や物価・燃料価格の高騰による輸送コストの増加など、厳しい経営環境が続く中にあっても、地域住民の大切な移動手段を守るため、日々運行の維持にご尽力をいただきますことにお諮りして、厚く御礼を申し上げます。

さて、本地域におきましては、将来にわたり持続可能な地域公共交通を確保するため、昨年３月に策定をいたしました、「佐世保市・佐々町地域公共交通計画」に基づき、令和７年度は、バス路線廃止の対応として、佐世保市内の交通不便地区５か所での「予約制乗合タクシー」の導入や、黒島地区における「公共ライドシェア」の実証運行などに取り組んで参りました。

その成果の一つといたしまして、いよいよ明日、黒島地区におきまして「公共ライドシェア」の本格運行が開始されます。地域の移動手段を確保する新たな取り組みとして、大きな一歩になるものと期待しているところであります。

また、深刻化するバス運転士不足への対応といたしまして、外国人材の特定技能制度を活用した運転士確保の検討も進めているところであり、地域公共交通ネットワークを将来にわたり維持していくためにも、本計画に掲げる各施策を着実に推進していくことが重要であると考えています。

本日は、令和７年度決算及び地域公共交通計画の変更等についてご審議いただくとともに、「佐世保市・佐々町地域公共交通計画」の進捗状況等についてご報告を申し上げます。

委員の皆様には、それぞれのお立場から忌憚のないご意見を賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

結びとなりますが、委員の皆様方のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げまして、開会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

(事務局：須藤)

ありがとうございました。

それでは、本日の議事に入らせていただきますが、次第にございます通り、本日は議事が６件、報告事項が２件、合計８件について、ご意見を賜りたいと存じます。

協議の時間の目安でございますが、１１時３０分までを目安として考えてございますので、ご協力のほどよろしくお願いをいたします。

なお、本日の会議は、協議会規約 第７条第４項に基づきまして、公開とさせていただきますと存じますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

それではここから、宮島会長に進行をお願いしたいと存じます。

よろしくお願いいたします。

《 3. 議題 》

（宮島会長）

ここからは、私の方で議事の進行を務めさせていただきます。
お手元の会次第に沿って進めて参ります。

＜（１）規約等の改正について＞

まずは会次第の３つ目でございます。本日の議題の１番目としまして、議事（１）「規約等の改正について」でございます。
事務局から説明をお願いします。

（事務局：藤下）

※「規約等の改正について」（省略）

（宮島会長）

ただいまの事務局からの説明について、ご意見ご質問はございませんでしょうか。

《 質問・意見等なし 》

（宮島会長）

よろしいでしょうか。
それでは、議事（１）については、ご了解いただいたということで、次の議題に参ります。

《 「はい」 の声 》

＜（２）令和７年度佐世保市・佐々町地域公共交通活性化協議会

活動報告及び決算報告について＞

続きまして、議事（２）「令和７年度佐世保市・佐々町地域公共交通活性化協議会活動報告及び決算報告について」でございます。
事務局から説明をお願いします。

（事務局：藤下）

※「令和７年度 佐世保市・佐々町地域公共交通活性化協議会活動報告及び決算報告について」（省略）

（宮島会長）

ここで会計監査報告につきまして監査役でいらっしゃいます、世保市商店街連合会会長、竹本委員より、代表してお願いをいたします。

（佐世保市商店街連合会：竹本委員）

令和７年度 佐世保市・佐々町地域公共交通活性化協議会、監査報告をいたします。

令和７年度における会計収支を令和８年５月２７日に監査した結果、収支決算書の通り、収入支出ともに適正に処理されていることを認めます。

令和８年５月２７日、監査委員、佐世保市商店街連合会会長、竹本慶三。

（宮島会長）

ありがとうございました。

活動報告及び決算につきまして、ご意見等ございませんでしょうか。

《質問・意見等なし》

（宮島会長）

よろしいでしょうか。

それでは議事（２）の令和７年度決算を承認したいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

《「はい」の声》

（宮島会長）

ご承認ありがとうございました。

それでは、次の議題に参ります。

<（３）令和７年度 佐世保市・佐々町地域公共交通計画の事業評価について>

議題（３）「令和７年度 佐世保市・佐々町地域公共交通計画の事業評価について」でございます。

事務局から説明をお願いします。

（事務局：藤下）

※「令和７年度 佐世保市・佐々町地域公共交通計画の事業評価について」（省略）

（宮島会長）

それではただいまの説明につきましてご意見等ございませんでしょうか。

《質問・意見等なし》

（宮島会長）

それでは議題（３）「事業評価について」 ご了解いただいたということで、先に進めさせていただきます。

《「はい」の声》

次の議題へ参ります。

＜（４）波佐見町地域公共交通利便増進実施計画の策定について＞

議事（４）「波佐見町地域公共交通利便増進実施計画の策定について」でございます。
事務局から説明をお願いします。

（事務局：藤下）

議題４についてご説明いたします。

本件につきましては本市と波佐見町を結ぶ広域バス路線である、佐世保―嬉野線に関し運行経路及び運行本数の見直し等といった、バス路線の効率化により公共交通ネットワークを維持することを目的として波佐見町及び関係市町とともに利便増進実施計画を策定するものでございます。

計画の詳細につきましては、本日お越しいただいております、波佐見町のご担当者の方からご説明いただきたいと思いますと思っております。

波佐見町様よろしくお願いいたします。

（波佐見町：太田課長）

波佐見町商工観光課で課長をしております太田と申します。

よろしくお願いいたします。

今回、本協議会において、この議事についてご説明の時間をいただきありがとうございます。

まず議事の詳細に移る前に、今回波佐見町からご提案しておりますこの議事の経過、それから目的等について、皆様の方に簡単ではございますがご説明させていただきたいと思います。

波佐見町につきましては、現在、西肥自動車様により運行いただいております、佐世保―嬉野線が走っております。

この佐世保―嬉野線につきましては、佐世保市から嬉野市までをつなぐ広域の幹線でございますが、本町から佐世保市内の高校に通学する生徒の利用が非常に多い路線でもございます。

今回、この利便増進実施計画を策定するに当たりまして、この佐世保・嬉野線の再編、それから波佐見町内の各公共交通についての利便性を図るというふうなことを目的として、実施計画を行っております。

これから、この計画につきましては、国に申請をいたすこととなりますが、国の認可に当たりましては、沿線自治体の協議会で承認を得るというふうなことが条件となっております。

今回、佐世保市様の本協議会において、皆様にご説明しまして、ご承認をいただきたいと考えております。

波佐見町におきましては、鉄道駅がございません。

本町において佐世保―嬉野線の安定維持につきましては、まちづくりの最重要施策と位置付けております。

どうか委員の皆様におかれましては、ご理解とご協力を賜りまして、ご承認いただければと思っております。

詳細につきましては、担当から説明をさせます。よろしくお願いいたします。

(波佐見町：松本係長)

波佐見町商工観光課係長をしております松本からご説明させていただきたいと思います。

まず資料ですが、資料 4-1、4-2、別紙 1 と、3 つございまして、別紙 1 は今回策定させていただき本編となっております。

これをもとに説明しますと細かい話になりますので、今回資料 4-1 をもとに内容の説明をさせていただきたいと思います。

ちなみに資料 4-2 は、今回の再編によって起こる変化を分かりやすくしておるもので、幹線の系統とダイヤの変化を再編前後で、分かりやすくしておりますのでこちらはご一読いただければと思います。

改めまして資料 4-1 をお手元にご準備をお願いいたします。それでは 2 ページ。

まずは計画の趣旨でございますが、星印のところになりますが、3 つございます。

まずは、地域間幹線である「佐世保―嬉野線」の利便増進です。2 つ目が「かわたな・はさみタウンバス」の本格運行への移行。3 つ目が予約制乗合交通「チョイソコのんなっせ号」の本格移行を行うものでございます。

先ほど、課長も説明しましたように関係市町、5 市町連名で策定をし、令和 8 年 10 月から再編を行う予定としております。

左下の再編方針のところを見ていただきますと、再編方針 1 としまして、今回、この協議会で審議いただく佐世保―嬉野線の再編ということで、4 市町が関係しております。

その下の 2 つの方針 2 と 3 につきましては、波佐見町と川棚町に関係する方針ですので今回、再編方針 1、の内容についてご説明をさせていただきたいと思います。

それでは 3 ページに移っていただきまして再編の方針とねらいでございます。

まず方針ですが、修正が 1 点あります。

「嬉野温泉バスセンター」と書いてありますが、「温泉」を消していただいてよろしいでしょうか。「嬉野バスセンター」になっております申し訳ございません。

これまで、嬉野バスセンターと佐世保駅を幹線系統とした運行をしておりますが、「早岐駅」、「佐世保駅」に「嬉野医療センター」と「やきもの公園前」を加えた 4 箇所を起終点とした 3 つの幹線系統への再編を行って参ります。

再編の狙いとしましては、3つございますが、まずは波佐見町と佐世保市、早岐の区間を新たな幹線区間としまして、運行水準と利便性を向上させます。

2つ目については、嬉野市さんに関係するところになりますが、嬉野温泉駅への延伸をすることで、波佐見—嬉野間の関係連携促進やアクセス向上を目指すというところ。

3つ目、早岐駅前における他の路線であるとか、JRとの接続、乗継強化・利便性向上ということで狙いを3つ掲げております。

もう少し中身につきましては4ページと5ページ、上下で見ていただくとわかりやすいのですが、4ページ、上の方が再編前の系統となっております。5ページが再編後の系統となっております。細かいところをご説明する前にざっくりとしたイメージをご説明いたしますが、まずは4ページで現状「佐世保駅」と「嬉野バスセンター」この赤で記されているところを起終点とした系統が基本となる運行をしております。

5ページの再編後の系統を見ていただきますと、佐世保と嬉野は変わらないのですが、赤のところ、「やきもの公園前」というのを波佐見町に起終点として設けると、下の方、早岐駅前というところで、この4つの起終点を設け、系統を3つ設けるということになっております。

波佐見側の「やきもの公園」から「嬉野医療センター」間、ここの需要が非常に少ないということになっており、現状の5.5回から3回に減らすことで、そこで生まれる運転士さんの時間や、リソースというのを、波佐見—佐世保間の運行水準を上げることで利便性を向上するといったような全体のイメージとなっております。

そういった形で系統を効率よくすることで柔軟な再編ができるというふうに考えております。

また、系統図の中の吹き出しの部分を見ていただきますと分かりますが、早岐—波佐見間の運行回数について、現状7.5回を9.5回に上げることで利便性向上を図ることとしています。

さらに、左下の吹き出し、早岐駅前を起終点とすることで、他路線との接続の強化、佐世保方面の利便性の向上を目指しており、波佐見の「やきもの公園」のところに、車庫の機能を設けることで、運行の効率化も同時に図っていくという内容となっております。

続いて6ページにつきまして、先ほど説明した幹線以外の系統について、この沿線沿に、波佐見高校、佐世保南高校、佐世保商業高校等がございます。この通学や帰宅便として運行している便につきましては、現状の運行時間や運行水準を維持して運行する予定としております。

続いて7ページ、目標と効果になりますが、目標につきましては、令和6年度の西肥自動車様の年間輸送人員を目標としております。

そして効果につきましては4つ掲げておりますが、まず佐世保・早岐—波佐見間の利便性の向上ということで、再編前が7.5回であるものを9.5回としております。

あとは嬉野方面へのアクセス向上ということで現在0.5回の乗入のところを3回へ改善し

ています。

3 つ目に、波佐見の「やきもの公園前」を起終点とすることで、波佐見行きの系統を分かりやすく再編するということで、現在、波佐見行きの系統がございませんが、再編により 2 系統の「やきもの公園前」行きを新設することとなります。

さらに波佐見町内に車庫を設けることで、運行の効率化を図ることができ、再編前後で約 1,000 万円程度の経費削減効果を見込んでおります。

続いて 8 ページになります。

地方公共団体による支援の内容ということで記載をさせていただいております。

下の表を見ていただいて、沿線自治体共通の支援として、地域内フィーダー路線の接続の調整ということで、沿線自治体の地域内の支線、フィーダー路線の確保や維持をすることや、接続の強化をするということで利便性向上を図って参ります。

波佐見町としましては、車庫機能の確保ということで波佐見町内への車庫機能確保をすることで、焼き物公園前のバス停近辺での待機、回送距離の削減ということが出来ますので、効率的な運行に向けた支援を行っていく予定でございます。

9 ページ以降は、再編方針 2 と 3 になってございますので後程、お目通しいただければと思います。

波佐見町の方から以上になります。

(宮島会長)

はい。ありがとうございました。

ただいまの説明についてご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

(西肥自動車：酒井委員)

今ご説明がありました、「波佐見町地域公共交通利便増進実施計画」につきまして、いわゆる佐世保—嬉野線を運行しておりますバス事業者としまして、少しご意見を述べさせていただきます。

先ほどご説明でもありましたように、今回の計画の趣旨としましては、2 点ございます。

まず 1 点目ですけれども、波佐見町から早岐佐世保方面への便数を増やすということでございます。

波佐見町方面から佐世保方面の移動がより便利になることでお客様のご利用が増えることを期待しております。

そして 2 点目、嬉野医療センター乗入本数の増、並びに嬉野温泉駅への乗入の実施でございます。

先ほど説明がありましたように、現状は嬉野医療センターについては、1 往復のみとなっ

ておりますけれども、これを3往復に増便するとともに、新たに嬉野温泉駅へ乗り入れを行うことにしております。これにより嬉野方面から、波佐見町方面のお客様の利便性の向上に寄与するものと考えております。

なお、この計画につきましては、現状のお客様の利用状況に即した運行計画とさせていただいておりますので、輸送の効率化も見込んでいるということでございます。

最後になりますけれども、この計画につきましては、5年間継続して行うことになっておりますので、我々バス事業者としましては、最大の課題であります、乗務員の確保、これについてしっかり努力をして参りたいというふうに考えております。
補足としては以上でございます。

(宮島会長)

ご説明ありがとうございます。

何か他にご意見ご質問ございませんでしょうか。

(佐々町長：濱野委員)

質問したいのですが、この計画の中では、増便がされているので、運転士が必要になることが想定されます。新たな路線を作られたというようなことですので、運転士の増員についてはどのように考えていらっしゃるのでしょうか。

(波佐見町：松本係長)

ご質問ありがとうございます。

波佐見町といたしましては、西肥自動車様に運行をお願いしておりますので、西肥自動車様から伺っている内容となりますが、今回の再編によって、運転士が増員するということは聞いておりません。現状の運転手の数で対応できるということで伺っております。

(西肥自動車：酒井委員)

ただ今のご説明の通り、運行の効率化を図る、路線を少し分割してやるということで、拘束時間や休憩時間をしっかり確保するということをやった上で、現状の人員でしっかり運行ができるということが確認できておりますので、そのご心配はなさらなくても大丈夫かと思っております。

(宮島会長)

他にご質問ご意見ございませんでしょうか。

《質問・意見等なし》

(宮島会長)

それでは議題(4)「利便増進実施計画について」はご了解いただいたということで、次の議題に移らせていただきます。

《「はい」の声》

<(5) 佐世保市・佐々町地域公共交通計画の変更について>

議事(5)「佐世保市・佐々町地域公共交通計画の変更について」でございます。
事務局から説明をお願いします。

(事務局：藤下)

※「佐世保市・佐々町地域公共交通計画の変更について」(省略)

(宮島会長)

ただいまの説明につきまして、何かご意見ご質問等はありませんでしょうか。

(子育て支援団体ママパパ代表：吉田委員)

「しおさい号」についてご質問させていただきます。

まず、このチラシを見た限りでは、運行形態がバスなのかタクシーなのか民間の車なのか、「しおさい号」というのはどんなものなのかというのが分かりづらいということと、1回350円ということで、地元の方の利用というのは分かるんですが、利用方法の中で黒島観光協会の電話番号が書いてあるので、観光と考えた時にこれは利用できるものなのか、そしてそのバス停で降りたら、例えば裏面を見ていただいてウェルカムハウスから、黒島神社に行きます。それが1回350円で降りたらまたかかるのか、それとも黒島神社で降りてまた今度は、黒島修道院まで行くのもまた350円がかかるのか。1回の利用方法について、もう少し詳しく教えていただきたい。

もう1つ、回数券が10回つづり、大人3,500円とありますが、15日より開始ということですが、回数券を求められている地元の方がいらっしゃるのか、それを把握されていたら、教えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

(事務局：近藤)

1点目の車両でございますけれども、これは国の補助、昨年度の実証実験の時に車両も購入しておりまして、軽自動車のEV車両、日産「サクラ」になりますけれども、その1両と、もともと観光協会の方でお持ちでした、ゴルフカートみたいな「グリーンスローモビリティ」の車両2台を使って「しおさい号」を運行していくこととなります。

主な車両としては先ほど冒頭申し上げた、軽自動車のEV車両を使っていくという想定でございます。

2点目ですが、当然、生活の足だけではなくて、観光の足も想定した形での裏面の停留所を設定しております。

料金につきましては、吉田委員のご発言の通りにはなりますが、裏面の運行区間の部分を見ていただければと思います。

自宅から停留所、または停留所から停留所を1回運行するあたり、今のところ350円を想定しております。

ただし、今後、観光目的で複数の箇所を巡りたい、周遊したいというふうなご要望もあるかと思うので、状況を見て観光周遊の料金の設定等々も含めて、今後検討をしていく状況でございます。

最後に回数券の地元要望の状況に関しましては、まだ観光協会の方からも情報を得ていないので、わからないという状況でございます。

以上です。

(子育て支援団体ママパパ代表：吉田委員)

ありがとうございます。

ちょっとびっくりしたのですが、「サクラ」軽自動車のEVとカートを使われるということだったので、もしこのチラシを見たときに、利用促進のために観光の人乗っていいんだよというふうに私はPRをしたほうがいいのかなと思ったのですが、それはやはり地元の人のことを考えるとどうなのかなと。

1台とカートしかないのに、例えば私が停留所から停留所と書いてあるのでウェルカムハウスに来て、神社行きたいんです。神社を1時間ぐらい回って1時間後にまた、来ていただいて次は、黒島修道院に行きたいんです。とかいう予約を綿密にできるわけじゃないですか。それをしたら、黒島の町民の方に大変申し訳ないことになるんじゃないかなというのが、少し思うのですがそれは、もうスタートされるということなので、そういう話はされたと思うので少しそこを教えていただきたいと思います。

(事務局：近藤)

もともと交通空白地であった黒島への交通手段の導入というところでは、まず島民の方の生活の足というところが当然メインとなると思いますが、やはり世界遺産等々の観光の方で来訪される方も多数いらっしゃいますので、このチラシに限らず、観光協会でのホームページであったり、船で来られるというところになってこられますので、相浦港のポスター掲示等々も含めて、利用促進に向けた取り組みは今後も継続していく予定でございます。

(子育て支援団体ママパパ代表：吉田委員)

ということは、使っても全然いいんですか。本当に迷惑にならないんですか。

(事務局：近藤)

迷惑にならないというか両方、生活の足も観光の足も想定した形での導入となつてございます。

実証実験の状況としては、なかなか対外的に広報周知というのが行き届いてない中でも、約8割が島民の方がお使いになって、それ以外、3割ぐらいだったと思いますけども、観光や、視察に訪れて利用されたというところでございまして、今現状島民の方の利用に何か影響がある、利用できなかったというお声は今のところ聞いてないので、ここは先ほどもおっしゃったように車両を2台で運行する予定でございまして、臨機応変にどういった車両を使って観光の方を運ぶとか、島民の方の生活の足として、どの車両を使うかというのは、そこはうまくコントロールしていくところでございます。

(子育て支援団体ママパパ代表：吉田委員)

今度、夏休みが来ますので、これをいただいた時点で私たちがPRをしようかなと思ったときにやはり「夏休みに利用できますよ」となると思います。

そこは考えてらっしゃると思うので私が言うのもなんですが、せっかくこういう国のお金が入って行っているのにもかかわらず、観光の人もいいよと言っているのにもかかわらず全部だめです。だめですだめですって言われたっていうのが、クレームが絶対来ると思うので、その対応も視野に入れていただきたいと思います。よろしくお願いします。

(事務局：須藤)

事務局から少し補足をさせていただきます。

今回、この事務局、観光協会の方でお願いをしています。地域の足という部分と、観光という部分、2つの面があるかと思います。

それを合わせて、この観光協会の窓口一本で受け付けるというところのメリットについてはその調整機能も果たしていただくという形になるのかなと思っています。

観光でお越しの方については、別の手段の「グリーンスローモビリティ」という数人乗れるようなカートになっておりますが、これについては一定時間を決めて、時間貸しでご利用いただくという形の仕組みも整えておりますし、観光の方においては、電気のレンタサイクル、それも数台備えておりますので、そのようなご利用もできるかと思っておりますので、まずは利用状況を見ながら、観光協会の方でそのあたりを調整しながら、今貴重なご意見、おっしゃっていただきましたが、せっかく始めたのに、クレームをいただくというのは本意ではございませんので、そこはしっかり調整しながら運用を図って参りたいと思っておりますし、今後見る中で改善が必要であれば改善をさせていただきたいと存じます。

貴重なご意見ありがとうございます。

(宮島会長)

ありがとうございます。

他にございませんでしょうか。

(佐々町町内会連合会：水田委員)

この黒島の回数券について、「便利な回数券を販売いたします」と書いてあって、10 枚つづりで 3,500 円となっており、回数券の便利なところがどこにも見当たらないです。

現金で 350 円ずつ払った方が便利で、回数券を使用する方には何もメリットがない。せめて回数券 10 枚つづりだと 3,000 円か 3,200 円。そのあたりで、料金設定をしていただくのはいかがでしょう。

(事務局：近藤)

ご意見ありがとうございます。

便利という表現ですけれども、回数券にすることによる値引きは、今現在想定はしておりませんが、いわゆる毎回、特に島民の方が頻繁に使われる方が、毎回その 350 円の現金の受け渡し、当然運転手さんとお金の収受も含めて、現金でのやりとりが少なくなるというところで、今のところ頻繁に使われる方はこの回数券をご利用いただいて、実際利用されるときにはこの回数券を渡すだけというような、そのような仕組みで便利という表現をさせていただいているんですけれども、今後、観光客も含めてのその料金をどうしていくかというところについて、ご意見もいただきながら、見直すべきところは見直していきたいと考えております。

以上です。

(宮島会長)

いただいたご意見につきましては、今後、しっかりと事務局と検討しながら進めさせていただきたいと思います。

ありがとうございます。

他にございませんでしょうか。

《質問・意見等なし》

(宮島会長)

それでは、議事（5）「地域公共交通計画の変更について」皆様からご承認いただいたということで、国への提出に関して手続きを進めて参りたいと思います。

なお、議事（4）及び議事（5）に係る提出書類につきましては、九州運輸局などからの指導によりまして文言等の修正があった場合は、事務局に一任をしていただくということではよろしゅうございますでしょうか。

《「はい」の声》

ありがとうございます。

それでは、次の議題へ参ります。

<（６）令和８年度補正予算について>

議事（６）「令和８年度補正予算について」でございます。

事務局から説明をお願いします。

（事務局：藤下）

※「令和８年度補正予算について」（省略）

（宮島会長）

ただいまの説明につきまして、何かご意見ご質問等はございませんでしょうか。

（佐々町長：濱野委員）

別の団体で西九州佐世保広域都市圏の関係で平戸市長さんとお話をする機会がございます、要望でございます。

平戸市の観光、今後この計画で佐々を乗継がないといけない。それから大野で乗継がないといけないということで、非常に不便になるというようなことでございまして、佐世保駅から平戸まで行くのに、松浦鉄道さんで 80 分かかります。

それで、考えたときに、特急を設定していただければありがたいなというふうに思ったところです。

西肥バス様に、佐世保駅から西九州自動車道無料区間を経由して佐々に着きまして、そのあと、国道 204 号を通るルートで、江迎バスセンター。今後、江迎鹿町のインターがきますと、佐々からまっすぐ江迎鹿町インターを経由して江迎バスセンター。それで平戸に行くというルートの新たな設定を 1 日に何便かお願いができればと思っているところです。

この件につきましてはもう何回もお話をしていますが、佐々バスセンターと大野で乗り換えをしなければいけないという不便さがありまして、非常に困るというようなことをお話しましたがけれども、平戸観光のことを考えると、先ほど波佐見町さんで、新たな路線を計画されましたので、ご検討いただければということで、ご要望させていただきます。

よろしくお願いを申し上げます。

（宮島会長）

ありがとうございます。

今濱野委員の方からご要望ございましたけれども、事務局並びに西肥バスの方から何か所感等はございますか。

（事務局：吉永）

事務局からまずお話ししたいと思います。

西九州自動車道を使った運行については実は以前も、佐世保市内からもそういうお声、ご要望が上がっておりました。

市内の一部区間において社会実験等も行ったところですよ。

その中では相浦の自衛隊駐屯地と佐世保駅を結ぶ区間の、西九州自動車道の利用だったのですが、収支が非常に悪かったというのが1つ要因であります。

それからもう1つ、運転士不足がずっと加速していた状況の中で、運転士を確保できなかったというところで、社会実験を一旦行いましたが、それ以降の運行は、佐世保市内の中でできなかったという状況です。

今回、この調査事業の中で路線再編というのは幅広く、私たちの方も探っていきたいなと思っています。

そのような運転士の確保状況のこともありますし、平戸それから佐世保間の移動の需要と供給量のバランスというのは、しっかりとらえなければいけないと思っていますので、可能であれば、この調査の中でぜひ行っていければと考えているところです。

(佐々町長：濱野委員)

今のお話を聞いたところ、相浦駐屯地は非常に不便だと思うんですけど、平戸観光をお話したので、そちらのルートを新たに設定していただければという要望でございますので、よろしくお願いを申し上げます。

(宮島会長)

濱野委員から、路線バス等を加えて、観光振興の面から新たな路線というか、特急の設定というような話でありますので、今後、西九州佐世保広域都市圏の観光振興の面にも繋がっていくと思うので、そのようなことと並行しながら、協議をしていきたいと、交通手段も考えていきたいと思います。

ありがとうございます。

(西肥自動車：酒井委員)

この5ヵ年の計画の中でそのような新たなものを盛り込むというのは可能なんでしょうか。

(事務局：吉永)

計画は、この5年間の中で状況に応じて変更することはもちろん可能です。

今おっしゃられたような運行体系が、地域全体のネットワークの形成と、それから供給量としてバスのリソース、それが確保できるのか、もちろん収支状況的にもそれが良くなければ、この改善に至らないので、そのようなものが整うのであれば、当然そこは計画を改善していければと思います。

(西肥自動車：酒井委員)

この5ヵ年計画がスタートするときに、相応のフィジビリティ（実現可能性）も含めて、リサーチもして、その上でこの計画が成立をしてスタートしたと思っていますので、今ご要望があった点につきましては、新たなニーズというか、その時想定されていたかどうか私もその時いなかったのので分かりませんが、検討が可能であればそれができるものはできるかもしれませんが、先ほど説明があったように運転士不足のところとか、あと働き方改革で運転士、整備士の雇用環境をしっかりと確保して維持をしないといけないという中で、需給関係とか、そういったところを踏まえてのこの計画のスタートだというふうに思っていますので、改めて今回、また再調査というか、調査の費用が、国庫で負担をしてやるということですので、そこが検討できる部分かどうかというのは先ほどもありましたけれども、その事業費の中で、検討することが可能であれば、検討してもいいのかなと思います。

現実的には事業者としては、難しいということでこの5ヵ年計画はスタートしているというふうに認識をしているところでございます。

（宮島会長）

もちろん酒井委員のお話の通り、基本的にこの計画を着実にしっかり進めていくことが重要だというふうに思いますので、ここをしっかりとやっていくと。

一方で5年間というスパンもございますので、この間にいろいろと状況も変化をしていくということもありますし、ただいま濱野委員からお話がありましたのは、今、西九州佐世保広域都市圏の中で、特にハウステンボスと、各自治体12市町が連携協定を結びましたので、その中で新たな観光のニーズなども出てくるということを考えれば、状況の変化もあり得るということを踏まえて、今後そうしたことも検討をしていくということでもありますので、まずはお話の通りに、しっかりと計画を進めていく、ここがマストだと思っています。

他にございませんでしょうか。

《質問・意見等なし》

それでは議事（6）「令和8年度補正予算について」は、ご了解いただいたということで、次に報告事項へ参ります。

<（7）大野地区・黒島地区フィーダー申請報告について>

<（8）佐世保市・佐々町地域公共交通計画の進捗について>

議題（7）「大野地区・黒島地区フィーダー申請報告について」と

議題（8）「佐世保市・佐々町地域公共交通計画の進捗について」の2点でございます。
事務局から説明をお願いします。

（事務局：藤下）

※「大野地区・黒島地区フィーダー申請報告について」（省略）

続きまして資料 8 でございます。

こちら佐世保市・佐々町地域交通計画の進捗についてということでございます。
資料 3 で協議をいたしましたときの、3 ページの方に、地域交通計画の実施事業 16 事業をお示ししておりましたが、そのうち事業、①の路線再編、及び⑩の運転士不足の、この 2 点の事業に対して、対応に関連し各バス事業者様の方から、今回取り組みの進捗状況についてそれぞれご報告をいただきたいと思いますと思っております。

西肥バス様の方から、路線再編についてと、運転士確保について、させぼバス様の方から運転士確保につきまして、それぞれご説明をいただきたいと思いますと思っております。

それでは、西肥バス様の方からご説明よろしくお願いいたします。

（西肥自動車：酒井委員）

お手元の資料 8 をご覧ください。

大野地区の分割運行についてということで路線図を左側に現状、それから再編後ということで比較して記載をしております。

前回のこの会議でも申し上げた通り本年の 10 月 1 日から、スモールスタートで大野地区の分割運行を行いたいということを申し上げたと思えますけれども、その右側に記載の通り、実施予定日としましては、令和 8 年の 10 月 1 日より、まず、土日祝の昼間帯、お昼の時間帯で実施をしたいと考えています。

内容につきましてはそこに記載の通りですが、知見寺・世知原線、それから大野—佐世保駅の路線において、大野での乗り継ぎの施策実施を行いたいというふうに考えています。

あと乗り継ぎに伴って運賃負担の軽減策としまして、乗り継ぎをされたお客様を対象に、nimoca のポイント付与を実施するということで予定をして、額について今検討を進めているという状況でございます。

まずはこの形でスモールスタートでスタートして状況等をしっかり把握をしてまいりたいと思っております。

続きまして運転士の確保について当社の取り組みの状況についてご報告を申し上げます。

当社におきましては、採用強化のためのいわゆる専門部署的なものを設置しておりまして、いろいろな機会を通じて就職活動者向けの訴求活動の強化並びに活性化を図っているという状況でございます。

具体的には、県内の高校を訪問させていただいてご説明をする。

あと自衛隊への働きかけ、セカンドキャリアのところを含めてございます。インターンシップの受け入れとか、企業説明会、このような活動を行っております。

あと、運転士体験会の開催を、当社独自のイベントということで、今 2 ヶ月に 1 回ぐらいですが定期的に行っておりまして、相応に参加者も増えてきている状況でございます。

あと、「どらナビ EXPO」というイベントもございまして、このイベントはバス運転士に

特化した採用イベントでございますけれども、過去やっただいて分について参加をして活動しているというところでございます。

ちなみに昨年東京で行われたＥＸＰＯに関しましては私も実際に上京して参加をして参りました。

その他としましては通常でしょうけれども、ハローワーク等へ定期訪問することで、しっかり人材の確保に向けた活動を、地道にこつこつとやっているという状況でございます。

こういった採用強化活動と両輪ではございますが、労働環境の改善、賃金の改定、運転士の処遇改善。こういったことにしっかり取り組んでいくことで従来の過酷で低賃金といった、負のイメージを払拭する努力も、精力的に行っているところでございます。

ちなみにこれらの取組については、しっかり継続して続けていくことが肝要かと考えております。

以上の取組によりまして、現在の要員状況でございますけれども、前年度は前々年度と比べまして、若干の減少、そして４月から６月、今年の第１クォーターでございますけれども、運転士採用と退職、またこの退職につきましては、定年退職、それから事情があって退職される方でございます。あと体調等の関係で職種を変更すると、このあたりを勘案すると、ほぼほぼ、プラスマイナスゼロで何とか現状の運転士数を維持しているという状況になっております。

これは、ここ数年の大きなマイナス基調に対し、一定の歯止めがかかっているのかなという認識をしているところでございます。

あと、現段階では検討レベルの域を出しませんけれども、働く方の多様な生活環境ライフスタイル、こういったものを鑑みて、平日専用の運転士、或いは短時間勤務の運転士、そして、佐世保市様とも連携をしまして、外国人の採用といった新たな採用形態ということに着手していきたいと考えているところでございます。

ただ、新規運転士の採用増加、並びに現役運転士の離職防止のためには、今申し上げた通り、運転士の労働条件の改善、処遇改善は必須であると思いますので、そのためには、我が社が企業体力をしっかり強化して参らないといけないということでございますので、やはり利用が少ない路線、赤字路線については、一定の圧縮とか、運行するための方策、こういったものをしっかり考えて対処していく必要があるかというふうに考えているところでございます。

西肥自動車からの報告は以上でございます。

（させばバス：中村委員）

私からは運転士の確保の状況ということで、まず最近の状況を申し上げます。

４月、今年度に入りまして、４名の方を採用することができました。年齢別に申しますと、１０代が１名、２０代が１名、３０代が１名、７０代が１名という状況になってございます。少しずつ若返りを図られているのかなというふうに思います。このような若い方がどんどん入っていただければ、職場の活性化も上がるんじゃないかなろうかと思っているところでございます。

それと、7月1日から高校生の求人というようなものでハローワークの方に求人票の提出をさせていただきました。

これは我が社においても、初めての取り組みということで、高校生に向けた求人活動というものも行って参ります。

そういった中で、7月の8日にある市内の高校の方で就職ガイダンスの時間を2コマ設けさせていただくということで、私の方もそこに参加をしまして、高校生50名いらっしゃったところで説明をして参りました。

その中で、バスの取り巻く環境であるとか、仕事の内容、バス運転手の魅力というようなものをお話させていただきました。

そのあとに、高校生の皆さんに「バスの運転手になりたい方いらっしゃいますか」というような問いかけをしました。2名ほど力強く挙手をしていただき、ぜひ我が社を選んでいただくようにお話を参りました。

それと、やはり即戦力ということが大事だというふうに思っております。そういったところは今、OBさんに積極的にお声掛けをしたり、何とか欠員の補充をやりたいというふうにも思っているところでございます。

それと先ほども西肥自動車さんからもお話がありましたようにこの待遇改善というものが、やはり重要になって参ります。離職防止ということもありますし、これも新規の採用というところもでございますので、特に初任給等につきましては、今年度も引き上げ、来年度も当然引き上げていきたいというふうに思っているところでございます。

あと外国人の雇用というようなお話も佐世保市の方からいただいております。これにつきましては、我が社の職場の環境整備というようなところもございますが、事業化を本格的にやるということになると、今年度は無理としても、9年度以降になるんじゃないだろうかというような見通しを立てているところでございます。

させばバスからは以上でございます。

(宮島会長)

ただいまの報告事項について、何かご質問ご意見はございませんでしょうか。

(子育て支援団体ママパパ代表：吉田委員)

西肥自動車様とさせばバス様のご報告でお聞きしたいんですけれども、させばバスさんの新規の雇用の10代20代30代70代とありましたが、やはり70代の方は、働き方改革で少し時間が少ないとか、他の30代20代の方とは違う働き方として雇用されているのかというのが1つ質問です。

それと西肥自動車さんには、11名の新規の雇用があったということですが、年代別の内訳について、もし情報をお持ちでしたら教えていただきたいなと思います。お願いします。

(させばバス：中村委員)

この 70 代の方におきましては、OB 枠の雇用ということで以前は、我々のところで仕事をしていただいていた方に、もう 1 回来ていただいたというようなところでございます。

勤務形態としましては他の運転士と同じような、5 勤 1 休というような環境で仕事をしていただいております。

(西肥自動車：酒井委員)

運転士候補生の高校生は 3 名採用させてもらいました。即運転はできませんので、教育期間があります。

あと途中で IJ ターンも含め、自衛隊の退職者の方、セカンドキャリアの方、こうなると 50 代後半の方が多いと思います。

今のところやはり、当社においても高齢化は否めませんので、若返りをしたいというのはやまやまですが、現在応募されてきて採用している年代層としては 40 代、それから 50 代の後半、このような年齢層が多いかなというふうに考えております。

ちなみに最近 1 人女性も採用しております。

(佐世保商業高校：前田委員)

インターンシップの話がありましたけれど、インターンシップを高校生に対してやっているのか、或いは、こういった内容をされているのかお聞きしたいと思います。

(西肥自動車：酒井委員)

先ほど申し上げたインターンシップについては自衛隊向けのインターンシップということですが、もし可能であれば先ほども各県内の高校を回っていると申し上げましたが、すでに 40 校程度訪問して、説明等を行っていますので、機会を与えていただければ、極力訪問させていただきたいと思っていますので、ご要望があればぜひお伝えいただければというふうに思います。

この程度のことのこのくらいやって欲しいという要望に沿ってやりたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

(宮島会長)

他にございませんでしょうか。

《質問・意見等なし》

それでは、次に参りたいと思います。

《 4. その他 》

それではその他のところで事務局から何かありますでしょうか。

(事務局：藤下)

事務局からは特にございません

(宮島会長)

せっかくの機会でありますので他に委員の皆様からご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

《質問・意見等なし》

ありがとうございました。

本日はオブザーバーといたしまして九州運輸局からもご参加をいただいておりますが、何かご意見等ありましたらよろしくお願いいたします。

(九州運輸局交通政策部 交通企画課長：小堀委員)

「しおさい号」黒島地区の公共ライドシェア、昨年度国の補助をご活用いただいて本格運行するというところで、実証実験の結果が順調だったというところで本格運行に移行されるということだと思いますので、引き続き取り組んでいただければと思います。我々としても住民利用と観光利用のハイブリッドということで大変注目している取組ですので引き続きよろしくお願いしたいと思います。

また今年度のリ・デザインの補助もご活用いただいて、また違う地区で公共ライドシェアの実証実験をされると承知しておりますので、こちらも取組状況とか、適宜ご報告いただくなどして我々としてもフォローさせていただきたいなと思っておりますので引き続きよろしくお願いいたします。

以上でございます。

(宮島会長)

ありがとうございます。

今後とも、持続可能な公共交通を実現するため、ご助言、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

それでは本日予定していました議題につきましては、以上で終了させていただきます。

(宮島会長)

本日は大変お忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございます。

人口減少等による利用者の減少によりまして、また、運転手の不足によりまして、公共交通を取り巻く環境というものは、依然厳しさを増しておる状況であります。

このような課題に対応するために、地域公共交通計画の取り組みなど、様々な場面で、本協議会の委員の皆様方を含め、関係機関の方々には、ご支援を賜りたいというふうに思っておりますので、ぜひ引き続きのご支援ご協力のほどをよろしくお願いを申し上げたいと思います。

それでは事務局の方に戻させていただきます。

(事務局：須藤)

委員の皆様方におかれましてはどうもお疲れ様でございました。

これをもちまして、本日の「令和８年度第１回佐世保市・佐々町地域公共交通活性化協議会」を閉会とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

(終 了)